

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年7月24日 (第1回)
市町村名 (市町村コード)	那智勝浦町 30421
地域名 (地域内農業集落名)	小阪 ()

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	14.2 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	14.2 h a
② 田の面積	12.6 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	1.6 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	－ h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	－ h a
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	－ h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－ h a
（備考）	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6：「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農地の面積が小さく、高低差のある棚田が多く存在しているため土地利用型農業の展開が困難である。また山間部にあるため獣害被害も深刻である。気候においても高温多湿で営農条件が悪い。大規模農家の育成にはなじまない。今後も引き続き、兼業、専業問わず新規就農者の支援、移住者の支援が必要。「棚田を守ろう会」が棚田保全に尽力している。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

中山間地であるため耕作面積が小さい、米の自家消費、兼業農家が多くなる傾向にある。中山間直接支払を活用し地域の維持に努めるとともに農地の利用に努める。また、棚田地域振興法により指定棚田地域になっている。棚田保全の取り組みを行い、棚田地域振興を継続していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地理・気候ともに条件が厳しいが、耕作を継続していく農家がある場合は可能な限り集約する。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35.3%	将来の目標とする集積率	35.3%
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
担い手となる農業者、団体に集約するよう支援する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
今後、地域の生産者の高齢化による離農が予想される。地域外から入作を希望する生産者を受け入れ、担い手として定着を図り、その担い手に離農により不耕作地となる可能性のある農地を集積する。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
日頃から、地域全体で農地の状況を把握する。耕作者が離農する農地については、次に誰が耕作担当となるかを話し合い、貸し借りが成立するようであれば、農地中間管理機構を活用し貸借をすすめる。
(3) 基盤整備事業への取組
耕作の状況、担い手の状況等を把握し検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から入作を希望する耕作者を募る。関係機関と連携し、新たな担い手となるように育成に取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農業支援サービス事業者がいないが、入作を希望する耕作者の受け入れを促進し、互いに協力して地域農業の維持に努める。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①鳥獣害対策が悪化しているため、耕作が困難になっている。地域で組織されている鳥獣害対策協議会と協力して取り組む。				
⑦中山間直接支払事業、及び地域全体で組織している色川棚田地域振興協議会の事業により地域の保全にとりくんでいきたい。				

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 17 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者		水稻	0.05 ha	ha	水稻	0.05 ha	ha	A	
利用者		水稻	0.5 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	B	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	C	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	D	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	E	
利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	F	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	G	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	H	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	I	
利用者		水稻	0.03 ha	ha	水稻	0.03 ha	ha	J	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	K	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	L	
利用者		水稻	0.4 ha	ha	水稻	0.4 ha	ha	M	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	N	
利用者		水稻	0.3 ha	ha	水稻	0.3 ha	ha	O	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	P	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	Q	
利用者		水稻	0.05 ha	ha	水稻	0.05 ha	ha	R	
利用者		露地野菜	0.006 ha	ha	露地野菜	0.006 ha	ha	S	
利用者		水稻	0.03 ha	ha	水稻	0.03 ha	ha	T	
利用者		水稻	0.01 ha	ha	水稻	0.01 ha	ha	U	

利用者		水稻・露地野菜	0.03 ha	ha	水稻・露地野菜	0.03 ha	ha	V	
認農		茶・養鶏	0.2 ha	ha	茶・養鶏	0.2 ha	ha	W	
利用者		水稻	0.08 ha	ha	水稻	0.08 ha	ha	X	
利用者		遊休農地	0 ha	ha	遊休農地	0 ha	ha	Y	
利用者		水稻	0.2 ha	ha	水稻	0.2 ha	ha	Z	
利用者		水稻	0.02 ha	ha	水稻	0.02 ha	ha	AA	
計	27経営体		5.006 ha	0 ha		5.006 ha	0 ha		





